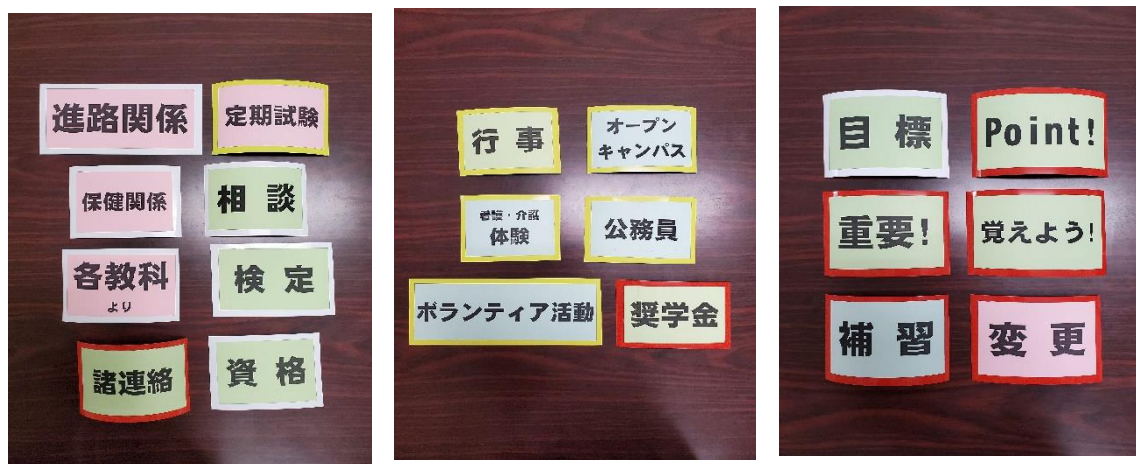
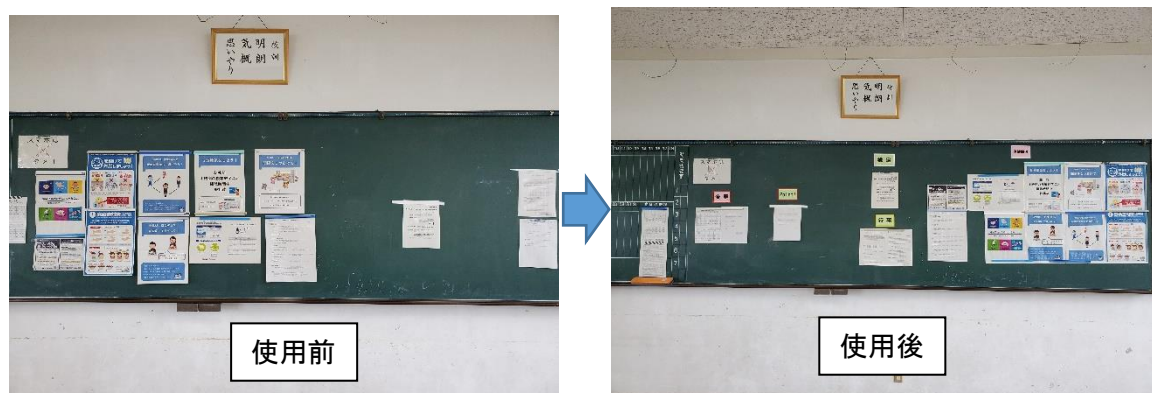


校長室だより No.29 5月27日(水)
ユニバーサルデザイン(黒板掲示用マグネット)

今週から一斉登校が再開され、学校を本来の姿に戻すための新たな取り組みが始まりました。部活動も再開され、当面は1時間程度の活動とはなりますが各部「3密」を避けながらの活動を模索しているところです。

さて、今日は休校期間中に特別支援コーディネーターの教員が取り組んでいた学校の「ユニバーサルデザイン化」を紹介したいと思います。ユニバーサルデザインとは年齢や性別、国籍、障がいの有無を問わず、「できるだけ多くの人にとって使いやすい」デザインのこと。このような考え方を教育に反映したのが「教育のユニバーサルデザイン」であり、教室内の環境整備もその一つです。

今回はその一環として「視覚刺激に配慮した環境整備」として黒板掲示用のマグネットシートを事務室と相談して全クラスに用意していただきました(感謝)



一部は授業用にも使えるものであり、プロジェクター等のICT機器と上手に併用することで効果が期待できそうです。

今年度、本校では重点目標の「魅力ある学校づくり stage2」のなかの一つとして「学びの自立化・個別最適化」をあげています。生徒の活動をスムーズにし、学習に集中できる環境をつくるのが、延いては生徒一人ひとりを大切にすることに繋がっていくと考えています。

コロナ禍による様々な課題に立ち向かっていくためには、今回の取り組みのように「生徒のために何ができるか」を考えた教職員の主体的な姿勢、工夫、改善が欠かせません。今後さらに様々なところで、このような取り組みが進むことを期待しています。